

平安女学院がマスコミに報道されました！！

中高・新体操部の吉田美妃さん

2007年9月19日(水)読賣新聞 朝刊

HOPE
ホープ

新体操でインターハイ出場目指す
平安女学院高1年
吉田 美妃さん 15

しなやかな動きでカラフルなフープやクラブを巧みに操り、マットの上を軽やかに動き回る。鍛えた筋肉と柔軟な体が、演技をより美しく見せる。



技術磨き完璧演技を

4歳で新体操を始めた。小学4年生の時に初めて出場した府大会で2位になり、競技にのめり込んだ。「一つずつ課題をこなして、試合で結果が出せた時は本当にうれしい」と話す。

競技では、個人が1分半、団体が2分半と、短い時間ですべての力を出し切らなければならない。「少しでもミスしたら負け。いかにノーミスでいけるかが勝負」と競技の厳しさを語る。完璧な演技を目指し、平日も夏休みも、毎日練習に明け暮れて、遊ぶ暇もなかった。

小崎さゆり監督(42)は「まじめで練習熱心。センスも良い。経験を積みばまだまだ伸びる」と期待する。

今年5月の府高校総体の学年別個人総合と、8月の府大会の学年別個人総合で優勝するなど実力を見せたが、全学年対象のインターハイ予選は4位と、惜しくも出場を逃した。目標は来年のインターハイ。「もっともっと技術を磨きたい」と意気込む。

29 第2京都 13版▲ 2007年(平成19年)9月28日 金曜日 享月 日 卯年 陽月

「子どもと教育」

レースパンフで「新・お嬢様宣言」
平安女学院、ピンクと白で



1875年の創立以来、進めってきたキリスト教女子教育を踏まえ、「新・お嬢様宣言」を掲げた。この三つの教養理念を軸に、学部やコースの説明、周辺マップや校内の写真も掲載している。

平安女学院(上京区)の中・高校と大学で、表紙にレースパンフをあらわした学校案内のパンフレットが登場した。写真・少子化で学校の生き残り競争が激化するなか、独自色を出そうと上品な女性をイメージして企画した。中高がピンク色、大学が白色のレースで、受験生らにも「お嬢様」かわかると好評だ。

パンフは中高が36ページ、大学の1冊は140ページ。柄のレースを用いた化粧品のパンフレットのようになかなかないイメージだ。

(3)へ。

2008年度学校案内パンフレット

2007年9月28日(金)朝日新聞 朝刊